



小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	自立活動
学年	特別支援学級（自閉情緒・知的）
目標	<ul style="list-style-type: none">課題解決のためには必要な手順や手続きがあることを知る。（知識・理解）課題解決のための手順を交流することができる。（思考力・判断力・表現力等）
教材タイプ	タンジブル
使用教材	Ozobot
環境	児童7名
都道府県	兵庫県
実施校	豊岡市立八条小学校
学習活動の概要・児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。）	<p style="text-align: center;">活動名『思うようにロボットを動かそう！』 <u>めあて「どうしたら Ozobot は動いてくれるかを考えて、やってみよう。」</u></p> <p>1 課題把握</p> <ul style="list-style-type: none">Ozobot を知る。活動のめあてをつかみ、見通しを持つ。活動のポイントを確認する。（トライ&エラー、学び合い） <p>2 個人活動</p> <ul style="list-style-type: none">提示された条件で線を描き、自分が想定したように Ozobot が動くかを確認する。うまくいかなかった場合は、再度線を描き直させたり、理由を考えさせたりする。  <p>3 学び合い</p> <ul style="list-style-type: none">自分の描いた線とクラスメートの描いた線を比べ、類似点や相違点を見つける。どんなことに注意したのかを交流する。動きの面白さを共有する。  <p>4 ふり返り</p> <ul style="list-style-type: none">めあてについてどの程度達成できたのか、自己評価する。学び合いで気が付いたことや分かったことを言語化する。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none">思うように動かなくても、思考錯誤したり相談したりしながら取り組めた。個人の活動が中心になり、意見の交流が活発にならなかった。